

グループで創る、ひとつの音楽。

スズキトーンチャイムは柔らかく心に染み入るような音色。独自のハンマー機構と厳選された材料により、すばらしい音色を実現しました。その音色は、聴く人はもちろん演奏者の心にも優しく響き、安らぎを与えてくれます。ひとりひとりが音を受け持ち、ひとつの曲を心を合わせて演奏することで、チームワークを高め一体感を得る喜びへとつながります。演奏愛好家をはじめ、学校教育や養護施設、サークル活動など、幅広く活用されています。



■ トーンチャイム トーンチャイム音域表はスズキwebサイトでご覧いただけます。

HB-250N



詳細はコチラ



トーンチャイム全音域4オクターブ半のうち、中心となる2オクターブ25音のセットです。まずはこのセットを揃えましょう。ケースは可搬性に優れたキャスター付きです。

持ち方

音名プレート（裏面）の真下をしっかりと握り、胸の前で構えましょう。低音のトーンチャイムは大きいので、もう一方の手をチャイムの一番下（底）に添えると良いでしょう。



音の止め方

チャイムの先端を体に付けたり、手で触れると音が止まります。また、机の上にタオルを敷き、チャイムの先端をタオルに当てて止めても良いでしょう。



演奏方法

腕を大きく前方に振って発音します。力をいれず、音を響かせるという感じで演奏すると良いでしょう。



活用例：トーンチャイムできらきら星（協同する喜びを学ぶ）

- ①「きらきら星」を全員でドレミで歌った後、「使われている音はいくつか？何の音かな？」と子どもたちに質問して「ド」「レ」「ミ」「ファ」「ソ」「ラ」の6音であることを確認します。
- ②子どもたちの中から6人選びます。
1人1音ずつトーンチャイムを持ち、担当音を記した紙を首からさげ順に横に並んで立ちます。
- ③先生は並んでいる子どもたちの前に立ち、「ド、ド、ソ、ソ、ラ、ラ、ソ…」と、「きらきら星」の歌の通りにそれぞれの音を担当する子どもを指さしていき、指された子はトーンチャイムを鳴らしていきます。



その他の活用例はこちら



品番	音域	本体音名表示	寸法 [※] (cm)	重量(kg)	付属品	税込価格(税抜価格)
☆ HB-250N	クロマチック25音 $g^1 \sim g^3$	$G_4 \sim G_6$	38×13.5×67.5	11.4	ケース、六角棒スバナ×3、ヘッドフェルト×5	107,800 (98,000)
HB-120AN	12音 $c^1 \sim f^{\#1} \cdot g^{\#3} \sim c^4$ (派生音含む)	$C_4 \sim F_4^{\#} / G_4^b \cdot G_4^{\#} / A_4^b \sim C_7$	37.5×10.5×52	9.5	ケース	90,200 (82,000)
HB-120B	12音 $g \sim b \cdot c^{\#4} \sim g^4$ (派生音含む)	$G_3 \sim B_3 \cdot C_7^{\#} / D_7^b \sim G_7$	70×12×35	7.9	ケース	96,800 (88,000)
HB-7CN	クロマチック7音 $c \sim f^{\#}$	$C_3 \sim F_3^{\#} / G_3^b$	100×16×63	22.7	ケース・六角棒スバナ×3	154,000(140,000)
HB-160	16音 $a^1 \sim f^{\#3} (b^{\#1} \cdot f^{\#2} \cdot b^{\#2})$	$A_4 \sim F_6$ (幹音のみ)・ $A_4^{\#} / B_4^b$ ・ $F_5^{\#} / G_5^b$ ・ $A_5^{\#} / B_5^b$	58×8×37	5.3	ケース・六角棒スバナ×1	77,000 (70,000)
HB-100	10音 $c^3 \sim c^4 (f^{\#3} \cdot b^{\#3})$	$C_6 \sim C_7$ (幹音のみ)・ $F_6^{\#} / G_6^b$ ・ $A_6^{\#} / B_6^b$	34×8×28	2.5	ケース・六角棒スバナ×1	49,500 (45,000)

※寸法は持ち手を上にしたときのケースの外寸を幅×奥行×高さで示したものです。